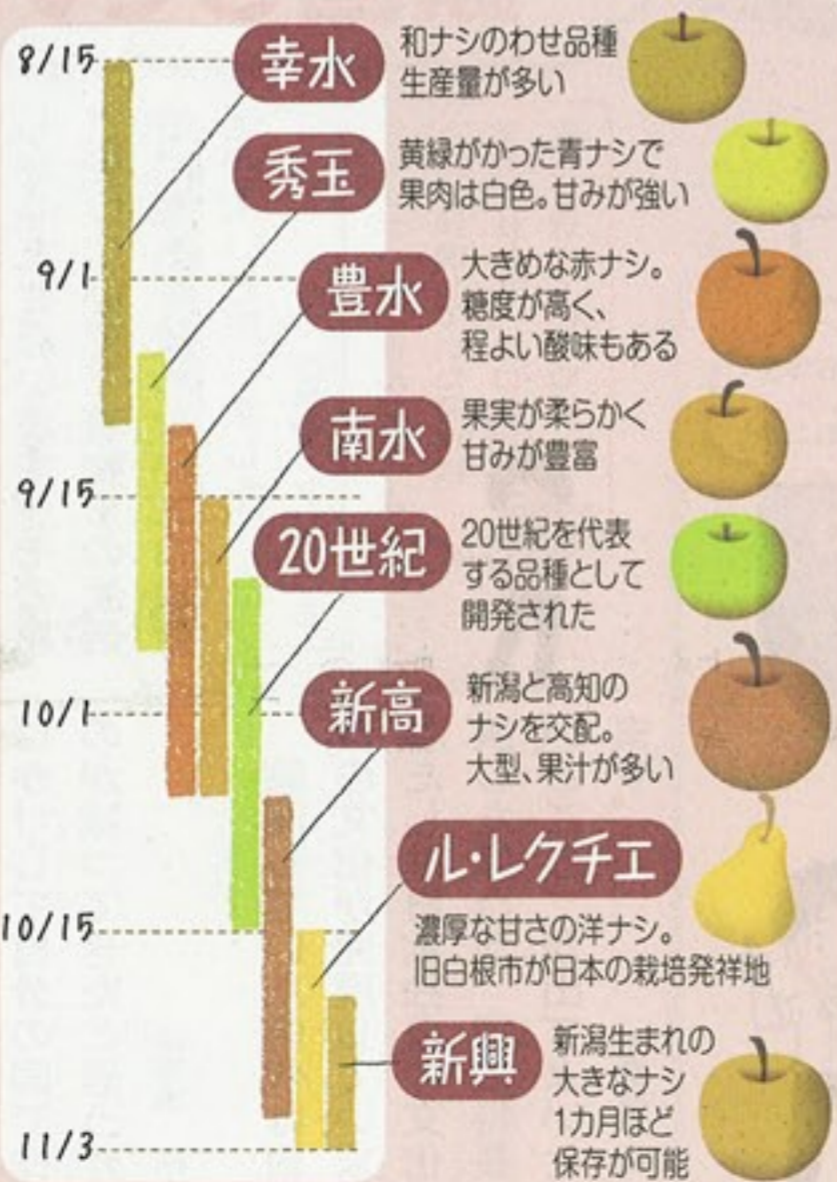




多くの家族連れでにぎわう観光果樹園。木になったまま熟した果物は甘くてとてもおいしい

① 収穫した果物を「選果機」による重さと、見た目の美しさで仕分けする社長の中村芳雄さん  
 ② 強風などによる果物の落下を防ぐため、畑を「防災ネット」ですっぽり覆っている

### 主なナシの特徴と期間



# ナシ、ブドウ たわわに

## かじゅえん (こいがたしみなみく) 果樹園 (新潟市南区)

爽りの秋真っ盛り。秋の果物がおいしい季節です。ナシの収穫時期に合わせて「果樹園」を見学に行かれました。訪ねたのは新潟市南区大郷地区の「白根大郷梨中村観光果樹園」。この地区は桃やブドウ、ナシなど、果物の栽培が盛ん。この時期はナシ狩りや採れたてのナシを買いに多くの人が訪れます。園内は、見渡す限りの果物畑。案内してくれた果樹園の社長、中村芳雄さんによると、広さは4畝で東京ドームとほぼ同じくらいあるそうです。25種類の果物を栽培しており、中でもナシが一番多く、「幸水」「新高」「ル・レクチエ」など14種類もあります。最近はいろいろな種類を食べたいという声が多いため、たくさん品種を栽培しているそうです。ナシ畑に入ると、たわわに実ったナシがたくさん。「大人も子どももぎやすい高さにナシがなるよう、調節して枝を張ります」と中村

## ようぼう (こた) (た) (ひんしゅ) (さいばい) 要望に応え多品種を栽培

雨の日には、お客さんの靴が汚れないように、靴の上にかぶせるビニール袋を用



園内には、採れたての果物や、ル・レクチエを加工したジュースなどを販売する売店もある

意し、歩きやすいように畑の中にシートを敷くこともあるそうです。甘くておいしい果物を作るのはもちろんですが、誰もが楽しく果物狩りができるようにしている、さまざまな工夫が印象に残りました。

# 見学なう!